

## はじめに

横浜市では、市内の小学校を対象に「環境教育」「福祉教育」「キャリア教育」の視点から、モビリティ・マネジメントについて学ぶ出前授業を実施しています。

このうち「環境教育」の授業は、マイカー中心の生活から、公共交通などを適度に利用する生活へと転換を促す「モビリティ・マネジメント」の一環として、目的や状況に応じてさまざまな移動手段をかしこく使い分ける視点を身に付けることを目的としています。今年度も昨年度に引き続き常盤台小学校で実施しました。

## 環境教育の概要

授業の冒頭では「いま世界で問題になっていることは？」という話から、持続可能な社会を作るための目標「SDGs」の説明をしました。また、地球温暖化の原因でもある二酸化炭素の影響や交通手段の特徴を説明し、実例を踏まえて「かしこい移動」を考えてもらいました。

座学後は、「交通すごろく」ゲームを使ってクルマの利用と渋滞の関係、環境も配慮した公共交通の利用について体験してもらいました。

(※交通すごろく：クルマまたはバス（公共交通）カードを使ってゴールを目指すゲーム。バスは一定のマス数を進めるのに対し、クルマは利用人数によって進めるマスが変わり、二酸化炭素排出量も増加する。ゴール順位と二酸化炭素排出量順位を総合して最終順位を決定する)

まとめとして、移動手段を選ぶときは「環境」、「健康」、「お金」「便利さ」など、様々な視点から考えることが大切であり、「行き先や状況に応じて、かしこく移動を選択する」ことが大切であることをお伝えしました。



## おわりに

環境や交通という身近なテーマでしたが、SDGs や地球温暖化の影響など、初めて知る内容も多かったようです。「ゲームを楽しみながら、環境についても学ぶことができた。」という感想もいただき、クルマの利用が環境や渋滞に及ぼす影響を実感してもらえたようでした。

今回の授業を通して交通手段の特徴を知り、便利なクルマに頼りすぎず、バスなどの公共交通で行ける場所は利用してみるという気持ちを持ち、家族や友達と少しずつ実践してほしいと思います。

